

第 10 小委員会

英 語

報 告 書

令和5年7月19日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 菅野勇次様

第12地区教科書採択調査委員会第10小委員会委員長 稲葉珠樹

先に諮問のあった令和6年度から使用する小学校用教科用図書について、英語科の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月28日）

- (1) 配付された6者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月7日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月14日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された6者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編修趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や児童の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍 「NEW HORIZON Elementary English Course」

- ・言語活動数合計第5学年 190、第6学年 226、内「聞くこと」第5学年 28.4%、第6学年 32.3%、「話すこと（2領域）」第5学年 39.5%、第6学年 27.5%となっている。
- ・外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年 18箇所、第6学年 27箇所となっている。
- ・北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数については、第5学年 6箇所、第6学年 0箇所となっている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、おすすめの施設をたずねることや、自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせる活動（第5学年）、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせる活動（第6学年）などが取り上げられている。
- ・学習内容やテーマをもとに、視野を広げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(2) 開隆堂 「Junior Sunshine」

- ・言語活動数合計第5学年 156、第6学年 156、内「聞くこと」第5学年 34.0%、第6学年 33.3%、「話すこと（2領域）」第5学年 35.9%、第6学年 35.9%となっている。
- ・外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年 2箇所、第6学年 10箇所となっている。
- ・北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数については、第5学年 4箇所、第6学年 3箇所となっている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介することなどを組み合わせる活動（第5学年）、日常生活での行動について聞くことや、理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせる活動（第6学年）などが取り上げられている。
- ・これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(3) 三省堂 「CROWN Jr.」

- ・言語活動数合計第5学年 171、第6学年 167、内「聞くこと」第5学年 24.0%、第6学年 24.6%、「話すこと（2領域）」第5学年 42.1%、第6学年 42.5%となっている。
- ・外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年 41箇所、第6学年 32箇所となっている。
- ・北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数については、第5学年 3箇所、第6学年 2箇所となっている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、行きたい国をたずねることや、パノラマを見ながら、行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせる活動（第5学年）、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組

み合わせる活動（第6学年）などが取り上げられている。

- ・音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(4) 教育出版 「ONE WORLD Smiles」

- ・言語活動数合計第5学年 69、第6学年 71、内「聞くこと」第5学年 40.6%、第6学年 25.4%、「話すこと（2領域）」第5学年 40.5%、第6学年 29.6%となっている。
- ・外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年 6箇所、第6学年 13箇所となっている。
- ・北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数については、第5学年 21箇所、第6学年 5箇所となっている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、ほしいものをたずねることや、自分で作ったオリジナルメニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせる活動（第5学年）、行きたい国や地域とそこできるところをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせる活動（第6学年）などが取り上げられている。
- ・話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(5) 光村図書 「Here We Go!」

- ・言語活動数合計第5学年 142、第6学年 149、内「聞くこと」第5学年 46.5%、第6学年 42.3%、「話すこと（2領域）」第5学年 19.0%、第6学年 18.8%となっている。
- ・外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年 2箇所、第6学年 15箇所となっている。
- ・北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数については、第5学年 3箇所、第6学年 4箇所となっている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったパンフレットを使って町の魅力を伝えることなどを組み合わせる活動（第5学年）、夏休みにしたことなどをたずねることや、自分が書いた絵日記を使って夏休みの思い出を発表することなどを組み合わせる活動（第6学年）などが取り上げられている。
- ・各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観に触れるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(6) 啓林館 「Blue Sky elementary」

- ・言語活動数合計第5学年 186、第6学年 202、内「聞くこと」第5学年 53.8%、第6学年 49.5%、「話すこと（2領域）」第5学年 26.9%、第6学年 24.8%となっている。
- ・外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年 52箇所、第6学年 72箇所となっている。
- ・北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数については、第5学年 1箇所、第6学年 6箇所となっている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、行ってみたい

国をたずねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせる活動（第5学年）、中学校でやってみたいことをたずねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせる活動（第6学年）などが取り上げられている。

- 世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

4 その他

別紙様式1

番号 観点	著者の氏名・題名	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第5学年 第6学年	英語・509 英語・510 英語・609	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな教科や食事の注文など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動（第5学年） <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の名前から音を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日にほしいものや身近な人について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて、自分の考えや気持ちを話す活動（第6学年） <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来したいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動（第6学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した学習課題を設定し、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、<u>生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動（第6学年）</u> 			
分量等 内容の構成・並び	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 2において、日常生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って一日の生活を紹介し合う活動に取り組み、終末の活動で、「週末の過ごし方カード」を書き、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 「Over the Horizon」(全学年)では、<u>学習内容やテーマをもとに、視野を広げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ 単元の学習を見通す「Your Plan」(全学年)や、テーマ別の「Check Your Steps」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、歌アニメーションや実写映像を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ <u>北海道とのかかわりのある内容を第5学年で6箇所取り扱っている。</u></p> <p>○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。</p>			

別紙様式1

番号 観点	著者の氏名・題名	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第5学年 第6学年	英語・511 英語・512 英語・611 英語・612	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 5 Word Book Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものや町にある場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動（第5学年） <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声で慣れ親しんだ英語を文字で結び付けることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな教科や身近な人のできることについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みの思い出や中学校でしたいことについて、自分の考えや気持ちを話す活動（第6学年） <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活の一番の思い出など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動（第6学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した学習課題を設定し、日常生活での行動について聞くことや、理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動（第6学年） 			
分量等 内容の構成・排列	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson 6において、学校行事の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活の思い出を発表し、思い出アルバムを作る活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 「Story Time」（全学年）では、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど、<u>児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ 1年間の学習を見通す導入ページ(全学年)や、巻末の「CAN-DO チェック」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、音声やクイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ <u>北海道とのかかわりのある内容を第5学年で4箇所、第6学年で3箇所取り扱っている。</u></p> <p>○ 学習者用デジタル教科書では、本文の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。</p>			

別紙様式1

番号 観点	著者の氏名・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	15・三省堂	第5学年 第6学年	英語・513 英語・514 英語・613	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary CROWN Jr. 6
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日や行きたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動（第5学年） <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字と音のつながりを学ぶことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな教科や地域の魅力について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来つきたい職業について、自分の考えや気持ちを話す活動（第6学年） <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望の職業についたらしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動（第6学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した学習課題を設定し、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動（第6学年） 			
分量等 内容の濃・薄	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson5において、小学校の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校で一番の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活を振り返って、みんなで思い出を共有する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 「ABC Fun Box」（全学年）では、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Unit 全体の学習を見通す「HOP」（全学年）や、まとめの言語活動を行う「JUMP」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、モデル動画や音声を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ <u>北海道とのかかわりのある内容を第5学年で3箇所、第6学年で2箇所取り扱っている。</u></p> <p>○ 学習者用デジタル教科書では、機械読み上げ音声や紙面の拡大表示などの機能を有している。</p>			

別紙様式1

番号 観点	著者の氏名・題名	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第5学年 第6学年	英語・515 英語・615	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間割や行きたい場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動（第5学年） <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音の違いに気付かせることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢の授業や行ってみたい都道府県について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みにしたことや将来の夢について、自分の考えや気持ちを話す活動（第6学年） <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校でしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動（第6学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した学習課題を設定し、<u>行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</u>（第6学年） 			
分量等 内容の構成・排	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson3において、日本の食べ物について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本の文化を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事や文化を紹介するポスターをかき、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 「Think」（全学年）では、<u>話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫</u>がなされている。</p> <p>○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ(全学年)や、各単元の「Lesson をふりかえろう」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ <u>北海道とのかかわりのある内容</u>を第5学年で21箇所、第6学年で5箇所取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。</p>			

別紙様式1

番号 観点	著者の姓・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第5学年 第6学年	英語・516 英語・616	Here we go! 5 Here we go! 6
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日にほしいものや憧れの人など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動（第5学年） <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と小文字を見て文字の名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな教科とその理由やオリジナル料理について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動（第5学年） <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介や動物が食べるものについて、自分の考えや気持ちを話す活動（第6学年） <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢宣言など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動（第6学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した学習課題を設定し、<u>夏休みにしたことをたずねることや、自分が書いた絵日記を使って夏休みの思い出を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動（第6学年）</u> 			
分量等 内容の構成・排列	<p>○ 内容の構成・配列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 2において、日本の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 「世界の友達」（全学年）では、<u>各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観に触れるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ Unit の話題を自分のことに引き付ける「About You」（全学年）や、巻末の「All About Me」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや音声を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ <u>北海道とのかかわりのある内容を第5学年で3箇所、第6学年で4箇所</u>取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式1

番号 観点	著者の名・題	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	61・啓林館	第5学年 第6学年	英語・517 英語・617	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日にほしいものや行ってみたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動（第5学年） ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動（第5学年） ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・食べたいものや自分の家までの最短ルートについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動（第5学年） ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の憧れている人や小学校の思い出について、自分の考えや気持ちを話す活動（第6学年） ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残ったできごとなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動（第6学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した学習課題を設定し、<u>中学校でやってみたいことをたずねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動（第6学年）</u> 			
分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 2において、季節ごとの日本の楽しみについて聞く活動を通して表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本で楽しめるものを紹介し合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第6学年） 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Friends around the World」(全学年)では、<u>世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</u> ○ 見通しをもって学習が進められるUnit全体のGOAL(全学年)や、巻末の「Can-Do List」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや単語クイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>北海道とのかかわりのある内容を第5学年で1箇所、第6学年で6箇所取り扱っている。</u> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			